

「新春懇談会」が 盛会に開催

1月10日、町、議会、商工会など経済4団体が一堂に会して情報交換を行う新春懇談会が、関係者ら約200名が参加し、盛会に行われました。

懇談会は、主催者を代表して高久町長から「東日本大震災の発生



1月9日、栃木県公館（宇都宮市）で平成25年度栃木県農業士、女性農業士、名誉農業士の認定式が行われ、那須町から永山優子さん（千振）が本町では初めての女性名誉農業士として認定を受けました。

永山さんは、酪農をご主人と共



永山優子さん

永山優子さん 栃木県名誉農業士に認定

に経営する傍ら平成10年に農業士の認定を受けられ、地域の女性リーダーとして農業後継者の育成や男女共同参画の推進など地域振興に尽力されました。

特に近年は、那須の食レストラ

ン「なすとらん」の取り組みにおいて、地産地消を推進し、那須の食と農の発信拠点となる取り組みや農林水産省のボランタリープランナーなど数多くの重要な役割を担っています。

今後も永山さんのご活躍が期待されます。

から試練の2年間でしたが、何とか観光や農業も震災前に戻りつつあります。しかし、一方では放射能汚染の不安拭きに苦慮しています。昨年、戸建て住宅の除染を開始したところですが、引き続き、今年、来年と2カ年をかけて町民の健康被害対策に万全を期していきたく思っております。今後とも皆さまのご協力をお願いいたします。」とあいさつがありました。

その後、町振興と特産品の消費拡大を祈念し、牛乳で乾杯が行われました。

定住自立圏形成協定を締結

町では、八溝山を囲む2市6町（大田原市、那須塩原市、那須町、那珂川町、福島県棚倉町、矢祭町、埴町、茨城県大子町）と定住自立



圏構想の取り組みを進めてきました。「定住自立圏構想」とは、中心市と周辺市町村が連携・協力して医療などの生活機能を確保し、定住人口の増加を図るもので、平成25年12月に議会の議決を得て、1月27日に中心市である大田原市と「八溝山周辺地域定住自立圏形成協定」を締結しました。

今後はこの協定に基づき、医療・福祉・教育・産業振興などの各分野で、生活機能を確保するための具体的な取り組みについて検討を行ってまいります。

▼問合せ 企画財政課
☎76906

畦畔・農道等の しば焼きを実施します

環境美化、越冬病害虫の撲滅等を目的として畦畔・農道等の雑草の焼却を農業生産組合（生産班）ごとに実施します。

▼期 日 2月22日(出)、23日(回)
※雨天・強風の場合は、3月9日(回)に延期

▼時 間 午前8時～午後3時
▼実施区域 町内全域

※農業生産組合など地区内集団で実施します。

▼問合せ 農林振興課農政係
☎76911